

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	あいら 始良	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	きりしま 霧島市ほか2市町
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林整備公社、森林組合、 森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、鹿児島県の中心部に位置し、森林面積は66,254ha（森林率68%）である。このうち民有林が54,623ha（82%）、人工林が35,805ha（人工林率66%）となっている。</p> <p>本地区は、天降川等を通じて下流域に豊富な水を供給し、近年、森林資源の充実とともに、搬出間伐や主伐が増加していることから、主伐後の再生林を確実に実施するなど、森林資源の循環利用を図りつつ、水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能を持続的に発揮させることが重要な課題となっている。</p> <p>このため、始良地域森林環境保全整備事業計画に基づき、効率的な施業に不可欠な路網の整備、搬出間伐や再生林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,681ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：林道開設 延長21,090m</p> <p>総事業費：4,346,944千円（税抜き3,951,721千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 5.00$</p> <p>（総便益（B）=26,443,114千円，総費用（C）=5,293,366千円）</p>
評価結果	<p>必要性：間伐や主伐・再生林の適切かつ確実に実施し、森林資源の循環利用を図りつつ、水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の持続的発揮することが求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業により、効率的な施業に不可欠な路網の整備、間伐や再生林等の森林整備を一体的・計画的に実施することで、水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の持続的発揮が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：鹿児島県

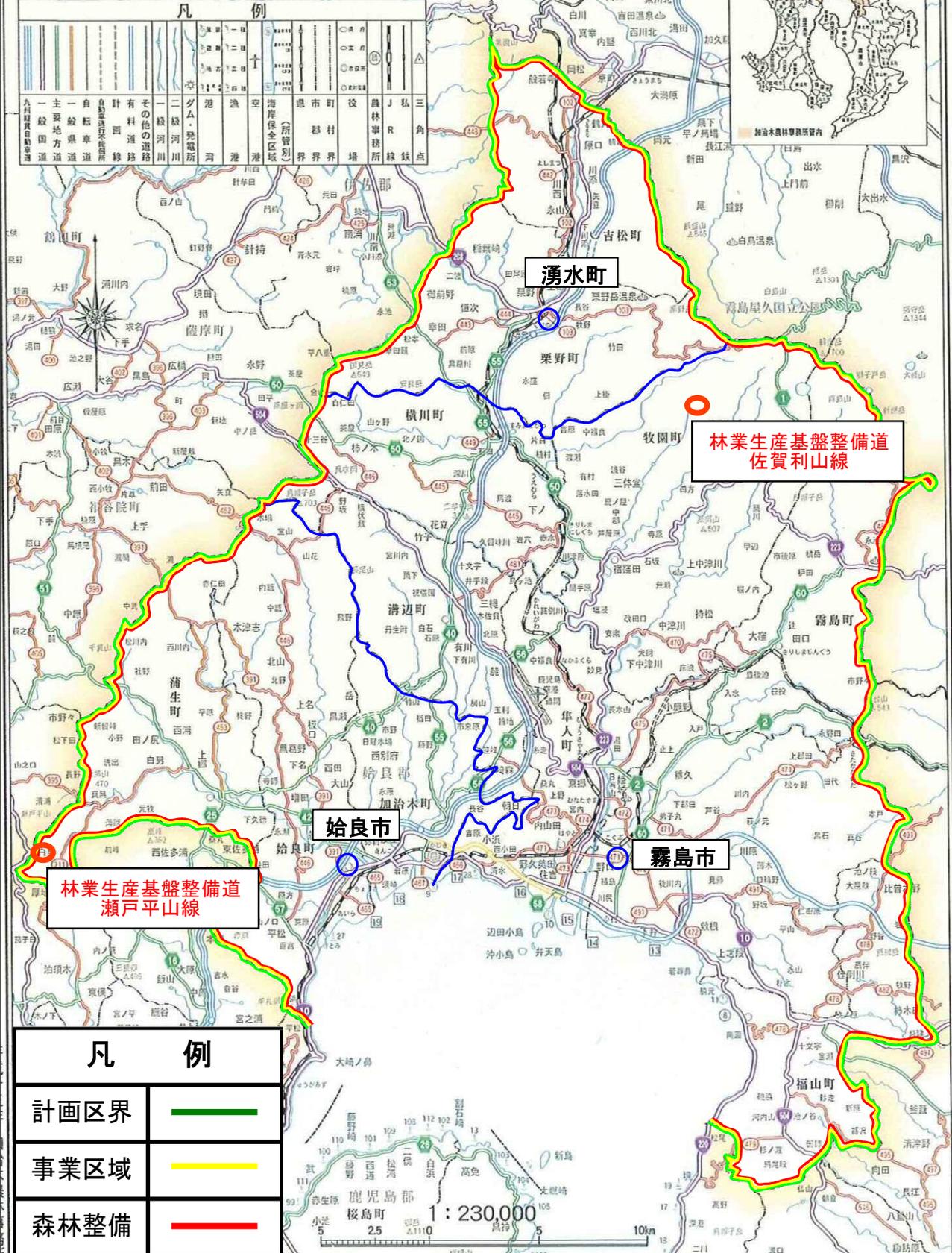
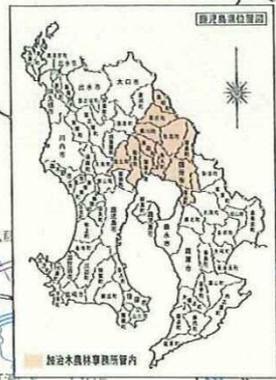
地域(地区)名：始良^{あいら}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,731,093	
	流域貯水便益	2,159,010	
	水質浄化便益	7,730,824	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,377,950	
環境保全便益	炭素固定便益	3,318,699	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	28,791	
	木材利用増進便益	21,198	
	木材生産確保・増進便益	1,503,863	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	9,750	
	森林整備促進便益	3,561,936	
総 便 益 (B)		26,443,114	
総 費 用 (C)		5,293,366	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,443,114}{5,293,366} = 5.00$		

森林環境保全整備事業 始良地区概況図(鹿児島県)

凡 例	
	計画区界
	事業区域
	森林整備



林業生産基盤整備道
佐賀利山線

林業生産基盤整備道
瀬戸平山線

凡 例	
	計画区界
	事業区域
	森林整備

1 : 230,000